

知財の広場

「うんこ」のマークの商標登録

世界中の誰もが関わる「うんこ」。英語が世界共通言語だとしても、「うんこ」の方が、世界の誰もが知っている。永くイメージの悪く捉えられてきた「うんこ」は決して悪ばかりではない。例えば肥料、医薬品などで貢献している。株式会社うんこが「うんこ」を選んだ理由。それは、「みんなが知っている」からとのこと。

同社は、創業から4年後の17年1月、「今まで以上に真剣に『うんこ事業』をしたい」との思いから、株式会社うんこに社名変更した。同社は、うんこマークのスニーカーやTシャツ、ネックレス、時計など、うんこマークを付したうんこグッズを販売している。右肩上がりの成長をしているとのこと。



出典：株式会社うんこ ホームページ

同社は、「うんこ」関連だけで8件の商標権を保有し（登録第5712612、登録59322020、登録5932011、登録5991486、登録6044086、登録6212436、登録634001、登録6689087）、他に、「うんこ」に関連して、「おなら」関係が4件、「おしり」関係が2件と、お尻まわりのネーミングについて、積極的に商標登録している。

なぜ「うんこ」なのかとの問いに、同社野畑社長は、「何しろうんこなので、同業他社が存在しない」価格競争から離れたところでビジネスをするには最適の条件だとのこと。

悪いイメージを逆手に取った戦略であり、競合他社の侵入を阻止するため、積極的な商標権取得による知財バリアー戦略を行っている。同社ホームページには、ユニークな話題満載のブログも掲載されている。

<https://unco.co.jp/uncokessan/>

西脇 吉徳（知財ナビゲーター）